

令和 8 年 1 月 19 日
愛 媛 大 学

工学的視点による地域課題・社会課題解決！

—今治地域の未来づくり—

愛媛大学及び今治市にて最終発表会を開催

愛媛大学工学部では、課題解決型学習として、「学部共通 PBL (=Project Based Learning) [融合型]」を開講しています。授業では、工学部の 9 つの専門コースの学生を混成してチームを編成し、単一の分野で割り切ることのできない地域課題・社会課題の解決に向け、専門分野を越えた多角的な視点での課題解決力を実践的に育成しています。

今年度は、今治市の地域課題を題材にしており、学生が現地でフィールドワークを行い、関係者の方々とディスカッションしながら、解決アイデアを具体化してきました。この度、その成果について最終発表会を開催いたします。なお、今回の発表会は、愛媛大学工学部で口頭発表を実施するほか、今年度新たに今治市に設置された「愛媛大学今治サテライト」にて、今治市の皆さまへ向けたポスター発表も行います。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

< 1 回目 愛媛大学工学部にて開催 >

- 日 時：令和 8 年 2 月 6 日（金） 8 時 30 分～11 時 50 分
- 会 場：愛媛大学工学部 2 号館 345 演習室（松山市文京町 3）
- 開催形式：会場及びオンライン（Zoom）によるハイブリッド開催
- 対 象：学生、地域・一般
- 内 容：15 の学生チームによる口頭発表 ※詳細は 2 枚目を参照
- 参加方法：下記問い合わせ先にご連絡ください。

オンライン参加は、Zoom のミーティングコード ID とパスコードをお知らせします。

< 2 回目 愛媛大学今治サテライトにて開催 >

- 日 時：令和 8 年 2 月 13 日（金） 13 時 00 分～15 時 40 分
- 会 場：今治地域地場産業振興センター展示ホール（今治市旭町二丁目 3 番地 5）
- 開催形式：対面のみ
- 対 象：学生、地域・一般
- 内 容：15 の学生チームによるポスター発表 ※詳細は 3、4 枚目を参照
- 参加方法：事前申込は不要です。会場へ、直接お越しください。
- 主 催：愛媛大学工学部
- 後 援：今治市

本件に関する問い合わせ先
愛媛大学大学院理工学研究科
准教授 郡司島 宏美（ぐんじしま ひろみ）
TEL：089-927-8544
Mail：gunjishima.hiromi.bi@ehime-u.ac.jp

※送付資料 4 枚（本紙を含む）



2025愛媛大学工学部「学部共通PBL融合型」

最終発表会

工学的視点による地域課題・社会課題解決！ ー今治地域の未来づくりー

愛媛大学工学部の15の学生チームが、今治地域の課題を探り、解決のためのアイデア出しに取り組んでいます。10月から今治でフィールドワークを行い、関係の方々からお話をお聞きしました。

アイデアを具体化したものを最終発表会でお披露目します。
ぜひご参加いただき、ご意見・ご感想をお聞かせください。

オンラインでもご参加できます。

※ご参加いただける場合は問合せ先までご連絡ください。

日時：2月6日（金）8:30～11:50

会場：愛媛大学工学部 2号館345演習室

（松山市文京町3）

- 1 線でつなぐアイデアとものづくり ～造船設計の魅力～（8班）
- 2 今治造船の人手不足の解消（5班）
- 3 造船DXが実現する「誰にでもわかる」デジタルツインの構築（3班）
- 4 未来の船 ～働きやすい新来島どつく船～（2班）
- 5 VRを使った体験によるスポーツパークの賑わい創出（13班）
- 6 海洋観測ブイによる通信自動運転の選択（4班）
- 7 もし造船所に配膳ロボットがいたら！？（7班）
- 8 夜間も無人で工場を管理 -サーモグラフィーカメラの可能性-（9班）
- 9 浅川造筋 ～スクラップをダンベルに～（6班）
- 10 “使われる場所”になるために
～地場産センターの利用向上をめざした取り組み～（12班）
- 11 製油所から目指す持続可能な社会（11班）
- 12 しまなみ海道におけるスローサイクリングの普及（14班）
- 13 小学生に丹下健三の素晴らしさを伝えよう（10班）
- 14 AIを活用した測定 ～波の予測～（1班）
- 15 リアルなハザードを知り、言葉の壁を超えて備蓄から命を導く（15班）



問合せ先：愛媛大学工学部 PBL融合型担当者
准教授 郡司島 宏美 TEL：089-927-8544
Mail：gunjishima.hiromi.bi@ehime-u.ac.jp



2025愛媛大学工学部「学部共通PBL融合型」

今治提案発表会

工学的視点による地域課題・社会課題解決！ ー今治地域の未来づくりー

今治地域の企業や行政のみなさまに題材をいただき実施しました。15の学生チームは関係者とのディスカッションや今治市内でのフィールドワークを行い、課題抽出と工学的視点から解決アイデアを検討してきました。今治の皆様に向けて、その解決アイデアの提案発表を行います。

日時：2月13日（金）13:00～15:40

会場：今治地域地場産業振興センター 展示ホール

（今治市旭町二丁目3番地5）

【プログラム】

13:00～13:05 開会挨拶

愛媛大学工学部長 森脇 亮

13:05～13:20 愛媛大学工学部PBL融合型のご紹介

愛媛大学工学部教授 中原 真也

13:20～14:00「2025PBL融合型」上位3チームのスライド発表

工学部長より、最優秀賞、優秀賞の賞状を授与

14:00～14:15「海事産業特別コース」とサテライトオフィス のこと

愛媛大学工学部教授 松下 正史

（15分休憩）

14:30～15:30「2025PBL融合型」全チームポスター発表

15:30～15:35 閉会

主催：愛媛大学工学部

後援：今治市

問合せ：089-927-8544 gunjishima.hiromi.bi@ehime-u.ac.jp（郡司島宏美）



2025展示ポスター「今治地域の未来づくり」

※（ ）内はご協力いただいた機関

- 1 AIを活用した測定 ～波の予測～（株式会社新来島どつく）
- 2 未来の船 ～働きやすい新来島どつく船～（株式会社新来島どつく）
- 3 造船DXが実現する「誰にでもわかる」デジタルツインの構築（株式会社新来島どつく）
- 4 海洋観測ブイによる通信自動運転の選択（BEMAC株式会社）
- 5 今治造船の人手不足の解消（今治造船株式会社）
- 6 浅川造筋 ～スクラップをダンベルに～（浅川造船株式会社）
- 7 もし造船所に配膳ロボットがいたら！？（浅川造船株式会社）
- 8 線でつなぐアイデアとものづくり ～造船設計の魅力～（浅川造船株式会社）
- 9 夜間も無人で工場を管理 -サーモグラフィーカメラの可能性-（今治造船株式会社）
- 10 小学生に丹下健三の素晴らしさを伝えよう（今治市文化振興課）
- 11 製油所から目指す持続可能な社会（太陽石油株式会社）
- 12 “使われる場所”になるために ～地場産センターの利用向上をめざした取り組み～（今治地域地場産業振興センター）
- 13 VRを使った体験によるスポーツパークの賑わい創出（今治市スポーツ振興課）
- 14 しまなみ海道におけるスローサイクリングの普及（今治市サイクルシティ推進課）
- 15 リアルなハザードを知り、言葉の壁を超えて備蓄から命を導く（今治市市民参画課）

これまでの活動（PBLの紹介と過去のポスター）

- 「分野融合型PBLによる地域に貢献できる工学系人材の育成」
- 次の7つのテーマにもとづいた過去の解決策アイデア
 - 1.再生可能エネルギー等を活用しカーボンニュートラルの実現
 - 2.循環型社会への取り組み
 - 3.地域産業のイノベーション
 - 4.訪れたい魅力あるまちをつくる
 - 5.暮らしやすい地域を目指す
 - 6.災害に強い地域をつくる
 - 7.人口減少社会・高齢社会における課題の解決